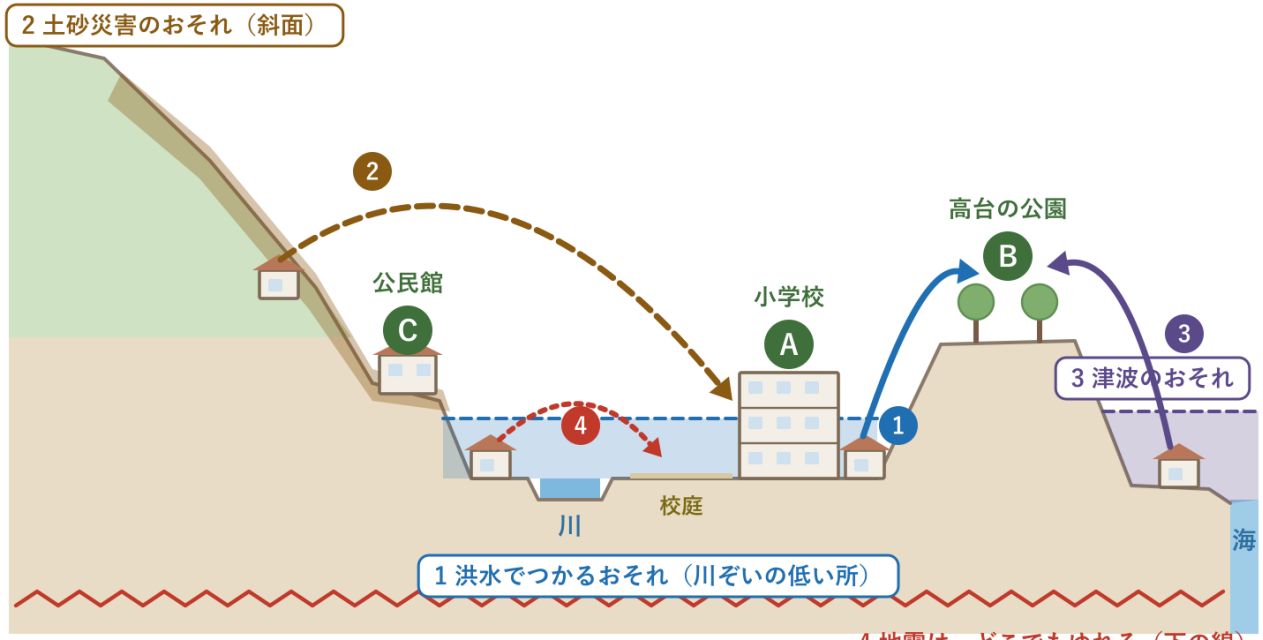
# 災害の種類とにげる場所のちがい

洪水・土砂災害・津波・地震で、にげる場所や向きがちがうのはなぜかな

## なないろ町（架空の町）を横から見た図

矢印：にげる向きの例（番号と色は災害の種類）




## 避難場所の看板（例）

**A 避難場所：川ぞいの小学校**

| 洪水 | 土砂災害 | 津波 | 地震 |
|---|---|---|---|
| × | ○ | × | ○ |

**B 避難場所：高台の公園**

| 洪水 | 土砂災害 | 津波 | 地震 |
|---|---|---|---|
| ○ | ○ | ○ | ○ |

**C 避難場所：山のふもとの公民館**

| 洪水 | 土砂災害 | 津波 | 地震 |
|---|---|---|---|
| ○ | × | ○ | ○ |

○ 使える　× 使えない（その災害のとき）

## にげる場所や向きがちがうわけ

**1 洪水**
水は低い所に集まる
→ 高い所へ早めに

**2 土砂災害**
土や石が斜面を
流れ落ちる
→ 斜面からはなれる

**3 津波**
海から速くおし寄せる
→ すぐに高い所へ

**4 地震**
物が落ちる・たおれる
→ 頭を守り、ゆれが
おさまったら広い所へ

## 気をつけること

- 大雨では、洪水と土砂災害が同時に起こることもある
- 海の近くで大きくゆれたら、すぐ高い所へ
- 本当のにげ方は、町の資料と大人の指示で

※ 模式図。町・看板・○×は架空の例。看板の形やマークは市町村によってちがう。実際の判断は地域の資料と指示で。